

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 ぎふグリーンドクター認定事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林活用推進課 電話番号：058-272-1111(内4349)
 森林吸収源対策室 緑化推進係

E-mail：c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,461 千円 (前年度予算額： 1,561 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,561	0	0	0	0	0	0	0	1,561
要求額	1,461	0	0	0	0	0	0	0	1,461
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県には、天然記念物に指定されている樹木を始めとした名木、巨樹古木等が数多生育しており、これらの貴重な樹木の保護・保存を図っていくため、平成7年度から一定水準の知識・技術を身につけた岐阜県緑の博士としての養成、認定を行う。

また、(一社)岐阜県造園緑化協会内に「緑の相談室」を設置し、緑化木や貴重な樹木の保護・管理等の助言、指導を行う。

(2) 事業内容

- ①岐阜県緑の博士(グリーンドクター)の認定
認定審査会の開催、研修会の実施、認定試験の実施 等
- ②緑の相談室の設置
一般県民、自治体からの相談に応じ、現地診断・指導等を実施

(3) 県負担・補助率の考え方

民間で同等の資格を創設することは困難なため、県主体で実施、県負担とする。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	231	審査会委員報酬
報償費	348	研修、勉強会、技術指導講師謝金
旅費	181	審査会、研修費用弁償135、業務旅費41
需用費	132	消耗品費128、会議費4
委託料	566	緑の相談窓口設置費500、研修準備費66
役務費	3	電話代、送料
合計	1,461	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 森林づくりの推進

(1) 災害に強い循環型の森林づくり

(ウ) 森林経営管理法に基づく市町村による森林管理の支援

(d) 森林づくりの多様な担い手の育成と支援

(2) 国・他県の状況

公的機関認定の資格を持った専門家（グリーンドクター）による無料相談窓口は国及び他県にはない。

(3) 後年度の財政負担

今後も引き続き認定していくため、同額程度の財政負担が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内に生息する貴重樹木の保護・保存の体制強化を図るため、県がグリーンドクターを認定する。また、緑の相談室について、緑化木・庭木等に関する知識・技術に施通した団体に委託する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を想定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図る。

樹木に関する相談窓口として、緑化木の選定・管理、病虫害に対する対応、貴重樹木の保護・管理等に技術指導等の相談、現地診断、指導を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

一定水準の経験と知識・技術を身につけた専門家の認定に要する経費であるため。また、県民からの相談に対応する経費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・認定審査会、部会の開催 ・A級研修選抜試験の実施 ・A級研修、登録更新研修の実施 ・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・認定審査会、部会の開催 ・登録更新研修の実施 ・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・認定審査会、部会の開催 ・A級研修選抜試験の実施 ・A級研修、登録更新研修の実施 ・（一社）岐阜県造園緑化協会へ委託し、「緑の相談室」を開設
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	本県には、天然記念物をはじめ、名木等が多数生育しており、これらを次世代に継承していくため、専門家の養成は必要である。また、相談窓口は緑化推進上必要である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	各地域で研修会を開催するなど、認定後の自己研鑽に努めており、県内の名木等の保護・保存体制の強化を図っている。また、毎年の県民からの相談に対応し、緑化保全の推進に寄与している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	認定試験を隔年に実施し、経費の削減と効率化を図っている。また、県民からの相談に対して、県下各地域の専門家が効率的に対応している。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 登録の有効期限が切れた者が増えつつあるため、登録更新研修の周知を図る。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 樹木に対する一定水準の知識・技術を身につけた専門家を認定し、貴重樹木の保護・保存の体制強化及び意識の高揚を図ることが必要であるため継続。 また、専門家による勉強会や高度な技術指導によりグリーンドクターの技術の研鑽を図る。相談窓口の設置については、樹木に関する唯一の無料相談窓口であり、貴重樹木等の保護・保存を図り、緑化を推進するために継続。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	